

日本平和学会 2014 年度秋季研究集会

2014 年 11 月 8 日（土）～9 日（日）

鹿児島大学郡元キャンパス

(<http://www.kagoshima-u.ac.jp/access/index.html>)

2014 年度秋季研究集会を、下記の通り開催いたします。大会テーマは、「日本は一体どこに向かおうとしているのか——3・11後の日本の進路を問う」です。学会としてはごく状況対応的なテーマとなっていますが、これは日本のアカデミズムが現在もつべき「危機感」を表すものでもあります。多岐にわたる現在の「危機」の構造を明らかにし、日本が進むべきオルタナティブな道を探ります。

部会・分科会とも、充実した報告が多数予定されております。また、開催校のご協力により、恒例の平和エクスカージョンも実施されます。奮ってご参加ください。

日本平和学会としては、初めての鹿児島での開催となります。できるだけ多くの会員の皆様にご参加いただき、今後平和を願う市民にも広く活用されるような新たなことばが生み出される機会となることを願っています。

日本平和学会第 21 期会長 佐々木寛

大会へのご出欠、昼食弁当の有無、懇親会へのご出欠などは、同封のハガキにて、**10月13日（月）必着**でお知らせください。なお、プログラムの変更や報告レジュメ・報告ペーパーにつきましては、随時学会ホームページ(<http://www.psaj.org/>) (QRコード) 上にてお知らせいたしますので、こちらをご覧ください。日本平和学会の研究大会・研究集会では、非会員の聴講も可能です。聴講のご案内についても、学会ホームページをご参照ください。

報告レジュメならびにペーパーは、学会ホームページでダウンロードできます。ご活用ください。レジュメは、10月6日頃から次回大会までの間、ペーパーについては、10月14日頃から大会終了2週間後までの間、公開されます。ペーパーは会員向けの公開です。ダウンロードの際にはパスワードを入力してください。



開催趣旨

大会テーマ「日本は一体どこに向かおうとしているのか——3・11後の日本の進路を問う」

2011年の3・11フクシマ以後の日本の現状は、あらゆる面において危機的様相を加速化させつつあると言っても過言ではありません。安倍政権は、原発再稼働・消費増税・TPP参加などを推進するとともに、特定秘密保護法の制定、国家安全保障会議の設置に続いて、集団的自衛権行使を容認する憲法解釈変更等、日本社会の軍事化を加速させようとしています。

このような危機的な時代状況の中で、今回鹿児島大学で開催される日本平和学会秋季研究集会が、矛盾を押し付けられる<周辺><弱者>の視点から日本社会、地球社会を鋭く分析し、より公正で持続可能なオルタナティブを探究する場となることを願っています。

開催校責任者 木村 朗（鹿児島大学）

11月8日（土）

午前の部

<自由論題部会 9:00—11:30>

○自由論題部会1（単独報告）

報告：林愛美（大阪大学大学院）

「儀礼的暴力に対する女性たちの新たな抵抗——ケニアのマサイ社会における女性性器切除実践に関する調査から」

討論：近江美保（長崎大学）

報告：大野光明（大阪大学）

「軍事化に抗するということ——京都府京丹後市での米軍基地建設問題をめぐって」

討論：木戸衛一（大阪大学）

報告：富樫耕介（日本学術振興会（東京大学））

「制約下における外部主体の紛争への関与：チェチェン紛争とナゴルノ・カラバフ紛争におけるOSCEの役割に注目して」

討論：玉井雅隆（立命館大学）

司会：毛利聡子（明星大学）

○自由論題部会2（パッケージ企画）

「21世紀の平和教育のペダゴギーを展望する——『グローバルな世界の読み書き』を中心としたワークショップ」

報告：芝崎厚士（駒澤大学）

「平和教育の実践としてのグローバルな世界の読み書き——駒澤大学・青山女子短期大学・東京大学での実践を中心に」

討論：柳原伸洋（東海大学）

討論：初瀬龍平（京都女子大学）

司会・討論：前田幸男（大阪経済法科大学）

<昼休み 11:30—12:20>

午後の部

<分科会（詳細は別紙参照）12:20—14:20>

<総会 14:30—15:20>

<部会1（開催校企画） 15:30—18:00>

ラウンドテーブル「戦争とファシズムの時代状況を問う」

パネリスト：石原昌家（元沖縄国際大学）

前田 朗（東京造形大学）

熊野直樹（九州大学）

木村 朗（鹿児島大学）

司会： 石川捷治（久留米大学）

<懇親会 18:30—20:30>

11月9日（日）

午前の部

<部会2（開催校と「3.11」プロジェクト委員会との共催企画）

9:00—12:20>

「フクシマの意味と日本の選択」

報告：杉原 洋（元鹿児島大学）「原発と就職列車」

報告：白鳥 努（弁護士）「川内原発差止訴訟（本訴と仮処分）の意義・目的」

討論：戸田清（長崎大学）

討論：蓮井誠一郎（茨城大学）

講演：小出裕章（京都大学）「原子力と平和」

司会：藍原寛子（Japan Perspective News）

午後：エクスカージョン 12:30—

- A. 川内原発コース（12:30大学発—17:30鹿児島空港—18:30JR中央駅）
※ 参加費：3000円（弁当代を含む）。杉原洋氏（反原発ネットかごしま）の案内・解説で川内原発ゲート前まで行き、その後に川内市文化ホール3階会議室で鳥原良子氏（川内原発建設反対連絡協議会会長）ら現地の人々との意見交換会を行うことを予定しています。
- B. 知覧平和記念館コース（12:30—16:30鹿児島空港—17:30JR中央駅）
※ 参加費：2000円（弁当代を含む）。『華のときは悲しみのとき—知覧特攻おばさん鳥浜トメ物語』の著者である作家・相星雅子氏に知覧特攻隊のことをバスの車内や平和祈念館で解説していただく予定です。

* <平和教育プロジェクト委員会主体ワークショップ>

平和教育プロジェクト委員会として8日15:30—18:00に公開のワークショップを予定しています。

【連絡事項】

- ◆受付は1号館玄関入口に設置してあります。1号館は鹿児島大学中央図書館の隣ですぐ前が一般道路の6階建の建物ですので、鹿児島大学郡元キャンパスまで来ていただければ、会場には迷うことなくたどりつけるはずです。
- ◆開催校周辺には昼食をとれる食堂が少しありますが、基本的に両日ともお弁当を注文されるようお勧めします。昼食弁当は、1000円です。同封の出欠はがきにてご予約ください。
- ◆懇親会の会費は、4000円（税込み）です。出欠はがきにてお知らせ下さい。懇親会の会場は、教育学部生協食堂「エデュカ」です。
- ◆秋の鹿児島での平和学会での宿泊先のホテルのご紹介と予約の受付のご案内です。天然温泉掛け流しで評判の良いホテルで、鹿児島中央駅とバスセンターから徒歩で5分ぐらい、また、鹿児島大学までタクシーでワンメーター前後、宿泊代も7千円前後といったお勧めできるホテルです。10月の第1週目まで、11月8日(土)をシングル40室を日本平和学会名（責任者：木村）でおさえましたので、ぜひご利用ください。予約される場合は、直接電話で日本平和学会会員であることをお伝えください。☆ シルクイン鹿児島
<http://www.silk-inn.jp/> 電話099-258-1221
- ◆大会最終日の11月9日（日）に二つのコース（A.川内原発コース、B.知覧平和記念館コース）を予定しています。参加希望の方は下記の開催校 Emailにてお名前、所属、連絡先を10月13日（月）までにお知らせください。ただし、23名を超える希望がある場合には、先着順により参加者を決定しますので早めにご連絡ください。なお、追加情報ははじめ詳細はHPでもお知らせします。
- ◆託児希望の方は、下記の開催校 Emailにてその旨を2週間前までにお知らせください。託児所を用意いたしますが、希望者がいない場合にはキャンセルいたしますので早めの連絡をお願いいたします。
- ◆ 学会開催校では、報告関連の資料、レジュメ等について、個別の持ち込みによるコピー等の依頼は、一切対応できませんので、ご注意ください。
- ◆ ご所属やご連絡先の変更届や会費に関するお問い合わせは、次の窓口までお願いします。

【連絡先】 231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 194-502

学協会サポートセンター内 日本平和学会係

電話：045-671-1525 FAX：045-671-1935

E-mail：scs@gakkyokai.jp

【連絡先】 開催校担当理事：木村 朗（きむら あきら）

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

電話：099-285-7654（直通） FAX: 099-285-7622

Email: kimura@leh.kagoshima-u.ac.jp

日本平和学会第21期事務局

〒244-8539 横浜市戸塚区上倉田 1518

明治学院大学国際学部 浪岡研究室内

電話：045-863-2228

Email:namiokas@k.meijigakuin.ac.jp